

いしやま形成外科クリニック



手術が必要な体表面の異常を「可能な限り外見に気を配りつつ治療する」ことを専門とする形成外科クリニック

成外科とはどんな分野でどのような病気を診ているのか、イメージがわかない人も少なくないだろう。石山誠一郎院長は「形成外科は、身体の表面に生じた異常を治療する診療科。生まれつきのあざや大きくなつたほくろ、けが、やけど、傷あとなどを、形成外科ならではの手法・手技を駆使して、より自然に、より美しく、正常に近い状態になる

ように治療します。当院は一般形成外科を主体とした保険診療に力を注いでいますが、機能的な面だけでなく、整容面も十分考慮しながら治療・手術を行っています」と説明する。「形成外科の認知度が低い場合に、けがやめにけがやけどをした時、どこの病院にかかったらいいかわからぬといつと困っている患者さんや、長年のコンプレックスになつていているような顔のでき

成外科の認知度が低い場合に、「地域の『かかりつけ形成外科医』を目指し、『できるだけキレイに、『できるだけ痛くなく』をモットー

保険診療に力を注ぐ、地域の「かかりつけ形成外科医」ができるだけキレイに、『できるだけ痛くなく』がモットー

形成外科とはどんな分野でどのような病気を診ているのか、イメージがわかない人も少なくないだろう。石山誠一郎院長は「形成外科は、身体の表面に生じた異常を治療する診療科。生まれつきのあざや大きくなつたほくろ、けが、やけど、傷あとなどを、形成外科ならではの手法・手技を駆使して、より自然に、より美しく、正常に近い状態になる

ように治療します。当院は一般形成外科を主体とした保険診療に力を注いでいますが、機能的な面だけでなく、整容面も十分考慮しながら治療・手術を行っています」と説明する。「形成外科の認知度が低い場合に、けがやめにけがやけどをした時、どこの病院にかかったらいいかわからぬといつと困っている患者さんや、長年のコンプレックスになつていているような顔のでき

ほくろやいばなど皮膚のできもの、切り傷などの外傷・熱傷(やけど)・ケロイド、顔面神経麻痺、床ずれ、爪の変形(巻き爪、陷入爪)、皮膚悪性腫瘍(皮膚がん)など、診療は保険適応となる形成外科疾患全般に対応するが、特に粉瘤(ふんりゅう)・袋状のできもの)や脂肪腫といった皮膚の良性腫瘍切除や、加齢によってまぶたが垂れ下がる眼瞼下垂(がんけんかすい)の治療に力を入れている。治療は日帰り手術が主体だが、遠方からの来院や入院治療が必要な場合は同院向かいの系列病院「札幌いしやま病院」の形成外科病室への入院も可能だ。



最新の医療機器を備えた手術室
(上)レーザー室(右)。形成外科的手法・手技を駆使して、さまざまな患者ニーズに応える

に、心の健康も改善させることを心掛けて治療しています。気になることがあれば、何でもご相談ください」
(石山院長)



院長 石山 誠一郎

日本形成外科学会認定形成外科専門医

INFORMATION

- 所 在 地** 札幌市中央区南15条西11丁目2-6
☎ 011-530-1480
診 療 科 目 形成外科
診 療 時 間 月~木 9:00~11:30
※月~水の午後、金曜終日は手術
休 診 日 第4土、日・祝日
駐 車 場 有(7台)
ア ク セ ス じょうてつバス「南14条西11丁目」下車徒歩1分
院 H 石山 誠一郎
P <https://www.ishiyama-keisei.com/>

